

音川小学校のあり方協議会だより

令和6年1月発行

No.1

あけましておめでとうございます。音川小学校のあり方協議会です。本年もよろしくお願いいたします。

当協議会は、主に「学校再編の方向性(統合・存続)」について地域主体で話し合うことを目的に設立し、丁寧かつ慎重に議論を進めてまいります。

まずは令和5年12月13日(水)、音川地区センターにおいて協議会の設立総会を開催し、これまで市内で設立された協議会の事例紹介や今後の活動内容について協議しました。

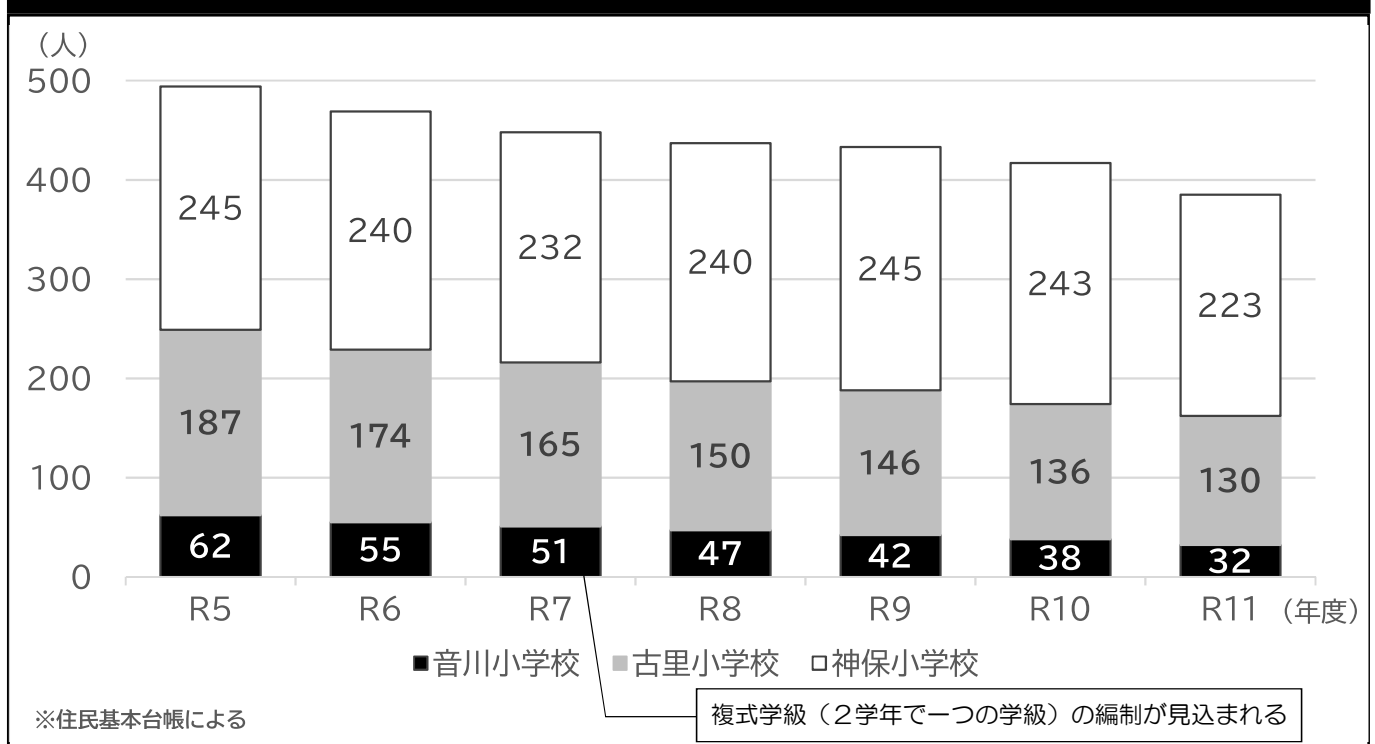
音川小学校の方向性(統合・存続)について丁寧に話し合いを進めてまいります。

<委員の紹介>

役職名	氏名	所属・役職	役職名	氏名	所属・役職
会長	中山 博昭	音川自治振興会会長	委員	若松 紀美子	音川保育所保護者会会長
副会長	若松 俊弘	音川交流センター事業運営委員会会長	//	場家 恵莉	音川保育所保護者会副会長
//	小塚 久雄	音川小学校PTA会長	//	舟瀬 健史	音川保育所保護者会
監事	平野 利彦	音川地区ふるさとづくり推進協議会会長	//	若松 広明	音川保育所保護者会
委員	山崎 幸夫	音川自治振興会副会長	//	山本 博之	音川地区民生委員児童委員協議会会長
//	清水 正之	音川地区社会福祉協議会会長	//	若瀬 しのぶ	音川地区民生委員・児童委員・主任児童委員
//	納村 駿介	音川小学校PTA副会長	//	谷 直仁	音川自治振興会文教部長
//	田中 仁	音川小学校PTA	//	頼成 博行	交通安全協会音川支部支部長
//	鉢呂 政樹	音川児童クラブ会長			

※当協議会の事務局として、市教育委員会がサポートすることとなりました。

◆城山中学校区の小学校の児童数◆



◆第1回協議会の様子をお伝えします◆

委員からの主な意見

- ・アンケートによると、通学について心配される保護者が多い。統合後の通学手段にどのようなものがあるのか、事例等を知りたい。
- ・複式学級での児童の様子を知りたい。
- ・令和7年度から複式学級の編制が見込まれるので、特に保護者にとっては、のんびりもしてられない。事例紹介にあったアンケートや説明会も既に行っているので、次回、委員の意見を聞いた上で、今後の具体的な活動内容を決めていくのがよいのではないかと。
- ・子どものことを考えるとかわいそうな面もあるが、学校あつての地域なので、軽々に結論を出すのは難しい。
- ・次回以降、委員の忌憚のない意見を積み上げていきたい。



◆地域協議の流れと議論の進め方◆

地域協議のステップと目的

STEP1

将来の学校のあり方協議会

(音川小学校のあり方協議会)

- ・再編対象校区別に立ち上げます。
- ・地域主体で、学校再編の方向性(統合・存続)について合意形成を図ります。

STEP2

統合検討協議会

市へ統合の申入れ

- ・統合を検討する方向性となった場合、相手方の学校がある地域と合同で立ち上げます。
- ・統合の可否について話し合います。

STEP3

統合準備協議会

統合

- ・市へ統合の申入れをした後、学校生活に必要な学用品や通学方法などを具体的に話し合います。



本協議会の議論の進め方

会則やメンバー等の決定
話し合う内容の確認

第1回(12月13日)では
ここまで議論しました。

再編の方向性の決定
(合意形成)

①

学校統合を視野に
STEP2へ進む場合

②

当面の間(5~10年間)
統合しない場合

どの学校(校区)と
統合について
話し合うか決めます。

児童数の変動を
注視しながら、
議論を再開する
タイミング(時期)
を確認します。

将来の子どもたちにとって重要な選択をするための大切な議論です。

次回協議会
開催日程(予定)

令和6年2月27日(火)19時～ 音川地区センターにて

◆問い合わせ先(当協議会の事務局)◆

富山市教育委員会事務局 学校再編推進課(担当:高岡・福島)
 ○所在 富山市新桜町6番15号 Toyama Sakuraビル8階
 ○電話 076-443-2241 ○FAX 076-443-2069
 ○E-mail gakkousaihen@city.toyama.lg.jp
 ※本協議会の模様は市ホームページ(右記QRコード)にて公開しています。



協議会の内容はこちらから